

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号		060102010300		事業の種類		1	
年度	23	事務事業名	情報公開・個人情報保護事業	予算事業名	情報公開・個人情報保護事業	重要度	3
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名 企画管理部総務課			
施策名(中)		情報提供の充実を図る		担当課長	玉田 直人	担当者名	宮下 忠和
取組み事項		情報発信力を強化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市情報公開条例 個人情報保護条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	すべての市民					
	誰(何)を対象として	すべての市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市政に係る情報を公開することにより、市民の市政参加を促進し、市政に対する市民の信頼と理解が深まるようになる。公開請求した公文書が適格に公開され、希望する情報が入手できる状態にする。					
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)		

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		情報公開・個人情報保護事業					
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画	
	公文書公開請求件数	件	13	12	14	10	
	公文書公開件数	件	10	12	11	10	
	個人情報開示請求件数	件	2	1	2	2	
	個人情報開示件数	件	2	0	1	2	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.044	0.044	100	0.044	100	0.044	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	568,905	571,410	100	662,764	116	674,980	102	
	事業費	69,520	16,460	24	2,100	13	202,000	9.619	
	合計	638,425	587,870	92	664,864	113	876,980	132	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	5,810	2,250	39	5,540	246	1,000	18	
	一般財源	632,615	585,620	93	659,324	113	875,980	133	
合計	638,425	587,870	92	664,864	113	876,980	132		

## ※ 事業の進捗状況

項目		21年度	22年度	23年度	24年度	/
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		公文書公開件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	12	120.0	10	83.3	10	100.0	
	実績	10	12	120.0	11	91.7			
指標名2		個人情報開示件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	0	0.0	1	-			

【効率性】

指標名1		公開1件当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)/公開・開示件数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-	73,081	-	
	実績	53,202	48,989	92.1	55,405	113.1			
指標名2		公開・開示率							
指標説明(式)		公開・開示件数(部分公開含む)/公開・開示請求件数							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-	100	-	100	100.0	
	実績	80.0	92.3	115.4	75.0	81.3			

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性			
有効性	成果目標(改善)達成度	請求件数に応じて増減するので、この数値を成果目標として捉えることは難しいと考えるが、16件の公開・開示請求があり、公開・開示2件、部分公開・開示10件、残り4件は文書不存在であり公開・開示すべき資料がなかったものであり、的確に公開・開示できた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	条例に基づき、公開・開示できる行政情報・個人情報については、情報公開・開示できた。	
効率性	コストの節減	請求件数に応じて増減するので、この数値を成果として捉えることは難しいと考える。	4
	執行体制の効率性	現行の状態以最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	引き続き実施していく。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後、情報公開・個人情報開示件数の増加及び請求文書の複雑化などが予想されるが、遅滞なく事務処理を行う必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	請求された公文書を情報公開条例及び個人情報保護条例に基づき、迅速・的確に公開・開示する。

配点	25
総合評価	18